

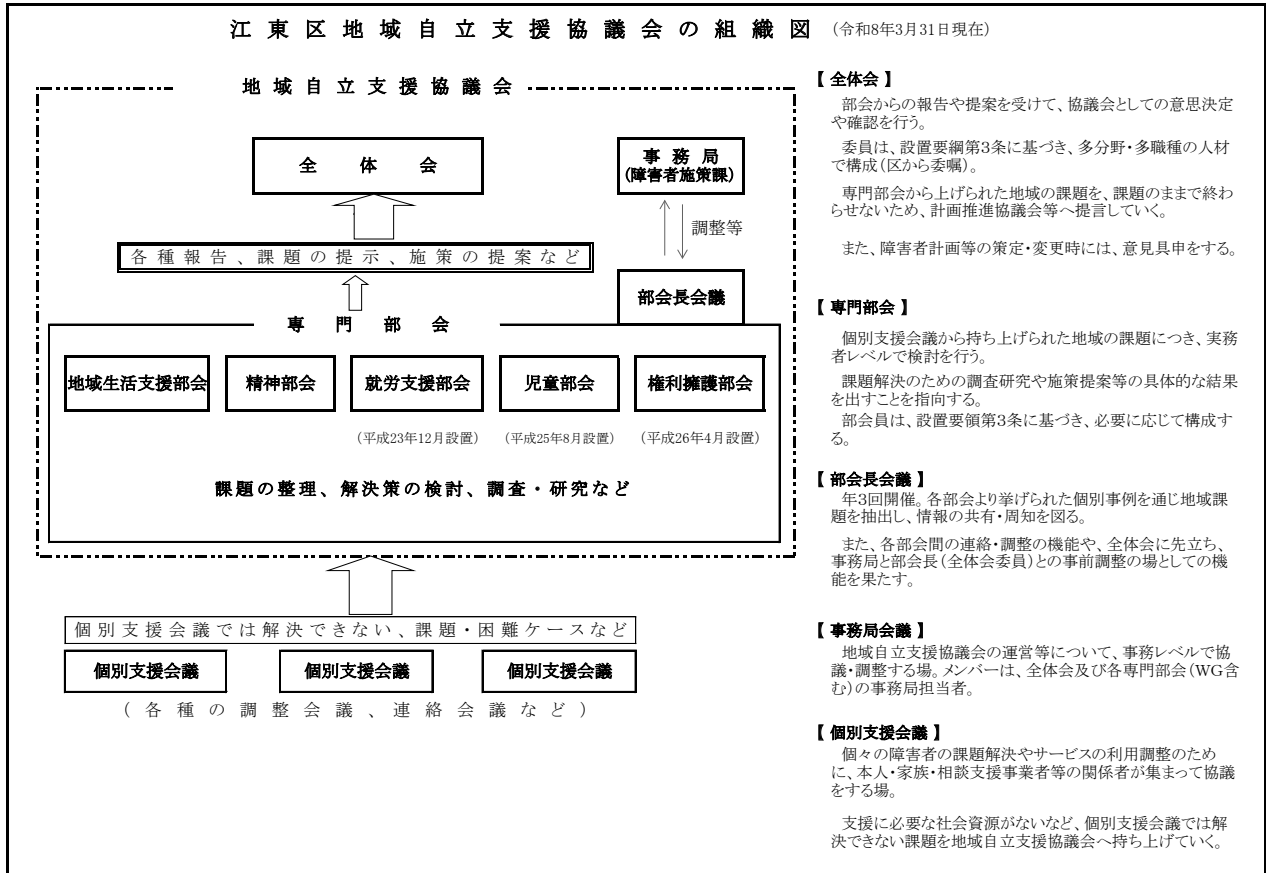
江東区

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 江東区地域自立支援協議会

(2) ホームページURL <https://www.city.koto.lg.jp/221010/fukushi/shogaisha/kyougikai/20170601.html>

(3) 組織図



2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

| No. | 役職 | 氏名 | 所属 | 種別 | 備考 | 経歴年数 |
|-----|-----|--------|------------------|--------------|----|------|
| 1 | 会長 | 里村 恵子 | 東京都立大学名誉教授 | 学識経験者 | | 長期 |
| 2 | 副会長 | 伊東 直樹 | 権利擁護センター「あんしん江東」 | 社会福祉協議会 | | 1年 |
| 3 | | 篠田 哲也 | 木場公共職業安定所 | 雇用関係機関 | | 1年 |
| 4 | | 有上 真理 | 東京都立江東特別支援学校 | 教育関係機関 | | 1年 |
| 5 | | 吉田 朋之 | 東京都立墨東特別支援学校 | 教育関係機関 | | 1年 |
| 6 | | 石井 公子 | 江東区手をつなぐ親の会 | 家族・関係団体 | | 長期 |
| 7 | | 平松 謙一 | おあしす福祉会 | 障害福祉サービス等事業者 | | 長期 |
| 8 | | 尾上 清 | 江東区身体障害者相談員 | 身体・知的障害者相談員 | | 1年 |
| 9 | | 伊藤 善彦 | 江東楓の会 | 障害福祉サービス等事業者 | | 長期 |
| 10 | | 高井 伸一 | 地域活動支援センター ロータス | 相談支援事業者 | | 長期 |
| 11 | | 肥田 淳 | 江東区障害者福祉センター | 障害福祉サービス等事業者 | | 3年 |
| 12 | | 青柳 浩二 | のびのび福祉会 | 障害福祉サービス等事業者 | | 長期 |
| 13 | | 岡田 芳久 | ゆめグループ福祉会 | 障害福祉サービス等事業者 | | 5年 |
| 14 | | 田村 満子 | こどもの発達療育研究所 | 障害福祉サービス等事業者 | | 長期 |
| 15 | | 油井 真 | 江東区聴覚障害者福祉推進協議会 | 障害当事者 | | 長期 |
| 16 | | 増田 亨 | 人権擁護委員 | 法曹関係者 | | 1年 |
| 17 | | 吉川 秀夫 | 保健予防課長 | 保健所 | | 4年 |
| 18 | | 木内 苗津子 | 教育支援課長 | 行政職員(区市町村) | | 3年 |

(2) 委員構成

| 種 別 \ 全体会・ 部会名 | 全体会 | 権利擁護 部会 | 児童部会 | 就労支援 部会 | 地域生活 支援部会 |
|-------------------|-----|------------|------|------------|--------------|
| 学識経験者 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 医療関係者 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 |
| 保健所 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 教育関係機関 | 2 | 0 | 8 | 1 | 0 |
| 雇用関係機関 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 企業 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 障害当事者 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| ピアサポーター | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 家族・関係団体 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 身体・知的障害者相談員 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 相談支援事業者 | 1 | 3 | 0 | 2 | 11 |
| 障害福祉サービス等事業者 | 6 | 9 | 8 | 13 | 3 |
| 社会福祉協議会 | 1 | 1 | 0 | 1 | 5 |
| 法曹関係者 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 民生委員・児童委員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 地域住民 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 行政職員(区市町村) | 1 | 5 | 12 | 3 | 0 |
| 行政職員(都) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 計 | 18 | 22 | 36 | 24 | 20 |

| 種 別 \ 全体会・ 部会名 | 精神部会 |
|-------------------|------|
| 学識経験者 | 0 |
| 医療関係者 | 5 |
| 保健所 | 2 |
| 教育関係機関 | 0 |
| 雇用関係機関 | 1 |
| 企業 | 0 |
| 障害当事者 | 1 |
| ピアサポーター | 0 |
| 家族・関係団体 | 1 |
| 身体・知的障害者相談員 | 0 |
| 相談支援事業者 | 4 |
| 障害福祉サービス等事業者 | 13 |
| 社会福祉協議会 | 1 |
| 法曹関係者 | 0 |
| 民生委員・児童委員 | 0 |
| 地域住民 | 0 |
| 行政職員(区市町村) | 3 |
| 行政職員(都) | 1 |
| その他 | 0 |
| 計 | 32 |

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項(複数回答)

② 就労支援に関すること。

就職支援や職場定着支援について、情報共有や課題整理を行った。(就労支援部会)

江
東
区

③ 地域移行・地域定着支援に関すること。

地域移行支援対象者の事例検討、情報交換、事業の周知、対象者把握（精神部会）

⑤ 医療と福祉の連携に関すること。

個別の事例検討を通じて医療と福祉の連携について検討した（精神部会）

⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること。

参加者から困難事例を募集し、ケーススタディとして事例の解決方法を部会内で議論した。（就労支援部会）

⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること。

地域課題を把握するための事例検討会の開催（精神部会）

⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること。

障害者虐待の事例について検討を行った。（権利擁護部会）

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること。

事業者交流会を開催し、相談支援事業者と障害福祉サービス等事業者間のネットワーク構築の機会づくりを行った（地域生活支援部会）

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること。

就労支援を専門とした相談支援事業所の支援員を招き、就労支援と生活支援についての意見交換を行った。（就労支援部会）

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること。

・「機関連携が必要な事例について」をテーマに事例検討を行い、障害者本人だけではなく家族にも問題を抱える場合における支援の在り方等を検討した（児童部会）
・事業所間の連携を深めるため児童通所事業者連絡会を開催し、抱える課題や支援方法等について意見交換を行った（児童部会）

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること。

個別の事例検討を通じて関係機関との連携やネットワーク構築について検討した（精神部会）

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

発達障害児の保護者支援として交流の場について検討した（児童部会）

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

個別の事例検討を通じて地域課題として、社会資源の開発や改善について意見交換を行った（精神部会）

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

地域生活支援拠点の内容や動向について議論し、情報共有を行った（地域生活支援部会）

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

・関係機関の活動報告を通して、共通した課題の再認識や機関連携の必要性の確認などを行う（児童部会）
・支援における成功事例などを共有することで地域における支援力向上を図る（児童部会）

② 情報共有・情報発信

グループでの個別事例検討を通じて地域情報の共有。制度や施設紹介を勧めるためのマップ作成（精神部会）

⑤ 地域課題の整理

各支援機関における状況等を共有し、地域における課題の協議（児童部会）

⑤ 地域課題の整理

個別事例の検討や、各支援機関における状況を共有し地域課題の協議をしている（精神部会）

⑧ 社会資源の開発及び改善

発達障害児の保護者が交流できる場として交流会の開催（児童部会）

⑧ 社会資源の開発及び改善

個別事例の検討や、各支援機関における状況から社会資源の開発や改善に向けて意見交換をしている（精神部会）

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

個別事例検討、意見交換、情報共有を通じて資質向上を図る（精神部会）

⑩ 権利擁護・虐待防止

施設間交流会（前年に行った虐待防止研修のフォローアップとして）を通して、権利擁護・虐待防止の啓発を図った。（権利擁護部会）

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等
（複数回答）

④ 福祉人材(マンパワー)の確保

個別事例ごとに各支援機関で連携してカバーしている（精神部会）

⑥ 障害児支援

発達障害児を育てる家庭における課題やサービスを共有するとともに、当事者家族の交流会を開催した（児童部会）

⑦ 医療的ケア

医療的ケア児を取り巻く現状および課題等について情報共有を行った（児童部会）

⑧ 高齢福祉分野との連携

対象者の高齢化、介護者である親が高齢になり介護できない死去で単身生活になるなどが課題。現状では個別事例を通じて地域包括支援センター等と連携している。（精神部会）

⑪ 地域移行・地域定着支援

地域移行支援対象者等の事例検討、情報共有、対象や把握や医療機関への働きかけ（精神部会）

⑫ ライフステージを通じた支援

対象者が子育て中であつたり、高齢化したりする中で対象者本人の役割や課題が変わる。それに応じた支援や他分野との連携が必要である。現状は個別事例ごとに対応している。（精神部会）

イ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

④ 福祉人材(マンパワー)の確保

人材の確保や資質向上について、広域での研修開催や人材確保のための予算確保などは広域または東京都で実施する方が効率的である。（精神部会）

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 法改正に伴う地域自立支援協議会の見直し等（複数回答）

① 個別事例の検討を通じて、地域のサービスの開発・改善につなげた。

個別事例検討を通じて各支援機関からの意見交換。情報共有を行っている。（精神部会）

ア 個別事例の検討を行った回数

4

回

イ 参加した事業者・機関等の数

30

か所

ウ 個別事例の検討を通じて取り上げた地域課題、サービスの開発・改善結果

精神障害者が利用できる入所施設が少ない：支援者が情報共有し近隣他自治体の施設を利用している。他分野との連携（高齢・子育て）のシステム化：個別事例ごとに連携している。今後、連絡会の開催などを検討。（精神部会）

② 個別事例への支援のあり方に関する協議、調整を行うため、専門部会等の設置や改編を行った。

個別事例検討を通じて各支援機関からの意見交換。情報共有を行っている。（精神部会）

(2) 地域で生活する当事者の声の反映（複数回答）

⑧ その他

ピア交流会の実施。当事者が企画・運営に参加している。（精神部会）

⑧ その他

当事者が部会員となっている。次年度はピア交流会のメンバーを推薦予定（精神部会）

(3) ICTの活用（複数回答）

- ① 当事者等が集合形式での参加が難しい場合、ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）で会議を実施

部会長会議にて、各委員が参加のしやすい環境整備のためハイブリッド形式での会議を実施。

- ② 会議録作成等に、音声認識による文字起こしツールを活用

地域自立支援協議会（全体会）にて、文字起こしツールを活用し、議事録を作成。

5 相談支援体制の拡充【新規】

(1) 相談支援体制を推進するための取組（複数回答）

- ⑦ その他

630調査からの長期入院者の把握。長期入院者へ地域移行支援等の事業紹介のため訪問。（精神部会）

(2) 地域移行に向けた相談体制（複数回答）

- ③ 施設等担当職員と連携して、地域移行への希望の確認や、外出・体験宿泊等の動機付け支援を行う体制がある。

施設担当職員を通し希望があれば、地域移行支援を行う事業者につなげている。（精神部会）